



「試合楽しい」体も心も弾む

シニア 女性参戦OKの混成

「混成」となっています。男子は40歳以上ですが、女子の年齢制限はありません。記録は11月23日に伏見港公園体育館で行われた男子「レディーズ」シニア各カテゴリー交流戦の結果です。(坂本真一)

◆ 府社会人バスケ交流戦 ◆

京都府社会人バスケットボール連盟は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、昨年まで実施していたリーグ戦の開催を見送り、カテゴリー別に交流戦を展開しています。

各カテゴリーで、今季の参戦を見合わせたチームもあります。「シニア」には5チームが参加しました。9月19日から12月27日までの日程で、それぞれのチームが2試合以上できるように対戦表が組まれました。京都府連盟の「シニア」は、女子選手も出場できる

- ▽男子 京都高麗ケ65-34 BOOH、boozee
- 62-54 BENERA
- ONIX、京都市消防局81
- 71 エストラ、VIRKING
- 95-60 英道セルティックス
- ▽レディーズ One☆bee 53-42 IDB
- ▽シニア ウエダOA 90
- 26 京都市消防局OB、三洋化成OB 95-34 HORIBA SONRYB



リハウンドのボールを取り合うウエダOA(白)のレディーズと「京都市消防局OB」の選手たち(伏見港公園体育館)

3人がかりのDF陣の突破を図ります



ゲームだったので楽しかった」と話しました。京都市消防局OBの副部長兼選手の星野幸司さん(53)は「ベンチの選手にはマスク着用が義務付けられ、大きな声も出せず指示もしづらかった。いいプレーをした選手に賛辞を送れないような状況でしたが、ゲームができてよかった」と言います。部員は全員消防職員。24時間勤務で練習や試合出場は非番などに限られます。「そんな中でスポーツを続けたいという仲間とバスケができる楽しみ、喜びをかみしめたい」と語りました。

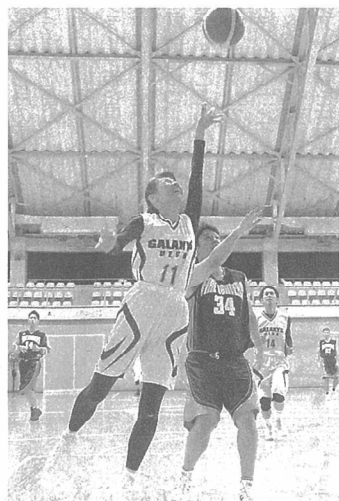
個人トレ重ね全員得点に満足

シニアの「ウエダOA」と「京都市消防局OB」が11月23日、伏見港公園体育館で対戦。ウエダOAが90-26で勝利しました。

ウエダOA監督の西澤和彦さん(55)は試合を終えて、「(この日出場した)7人全員が得点できました。参加したからには、得点を挙げてスコアに名前を残したいので、よかった」と言います。

40~50代が中心のチームです。チーム全員が集まっての練習はなく、各個人でトレーニングを積み、試合が全体練習の場にもなっています。西澤さんは「健康維持やコミュニケーションを大事にしつつ、勝ちにもこだわりたい」と話しました。

シニアは男子に混じて女子の出場も認められています。この日、ウエダOAの湯川貴子さん(43)が両チームでただ一人の女子選手として参戦。終始、楽しそうにプレーし、シュートも数多く決めました。「(コロナ禍の影響で)今年2月以来の



シュートする女子選手の湯川さん(11)